



① 平安時代からの憧れの地「白浜」

① 臨海浦に浮かぶ円月島。正式名称は高嶋といひ白浜のシンボルとして親しまれている。② 真っ白な砂浜の白良浜。年間数十万人の海水浴客で賑わう。③ 日本最古の湯ともいわれる崎の湯。波しぶきが届く最高のロケーション。



南紀白浜といえば日本を代表するリゾート地だが、その歴史は古く、日本書紀や万葉集にも記述され詠われている。天皇をはじめ多くの都人が湯治に訪れた上質な温泉。断崖絶壁が2kmにも及ぶ三段壁や、中央に丸い海食洞がぽっかりと空いた円月島、砂浜が美しい白良浜など、その魅力は全て大地からの贈り物である。そして今、ワーケーションという「新しい働き方」の波が、その白浜に打ち寄せている。

働くというシステム自身、我々にとっても新しい体験。それ自身が今後のビジネスのヒントに繋がるのではと感じました」と語るのは、ワーケーションを行った三菱UFJ銀行の方々。地域でのCSR活動などを通じ、普段と異なるコミュニティの話や、普段とができ、考え方や視野が広がったとの感想も多く、社会性や人間力の向上に資するなどの効果も期待しているという。

有名観光地ということもあり、WiFiの整備も早くから行われ、東京から空路で約70分と利便性も高い。ワーケーションはもとより、IT関係の企業の誘致にも積極的な和歌山。地方から発信する新しい時代の「働き方」は、もう始まっている。



熊野古道の道普請を行うなどのプログラムも用意されている。

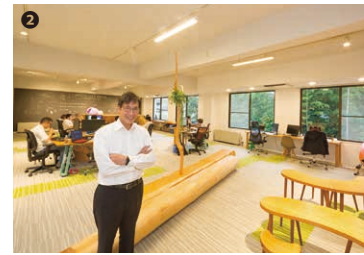
WORK SHIRAHAMA



地方の活性化を考えた企業と、白浜の高いポテンシャル

2016年、東京から白浜町に本社を移したのは、IT企業のクオリティソフト社。ゆったりとした敷地の中、社員たちは屋内はもちろん、屋外にPCを持ち出して仕事をすることが可能だ。「生まれは和歌山ですが、それが移転の理由ではありません。都会では通勤など様々な環境が過酷です。しかし白浜は自然が豊かで、^{うらやま}具も積極的に協力してくれました」と語るのは浦聖治社長。「地方が活躍する時代を作るのは、都会でなくても仕事が可能なIT企業の役目だと思っています。それには南紀白浜空港の存在も大きな要因でした。地域の発展には、観光客だけでなく、住民、を増やすことも大切です。それには雇用の拡大と、暮らしたくなる、という魅力的な環境が重要です。そういう意味でも白浜は凄いポテンシャルを秘めた場所だと思います」。

クオリティソフト株式会社
住所 / 西牟婁郡白浜町1701-3 電話 / 0739-45-1001
① 五色ヶ浜近くに建つ本社。② フリーアドレスとネイチャーノードがオフィス作りのコンセプト。社員だけでなく浦社長の表情も楽しげだ。



民間運営でさらに進化する南紀白浜空港

和歌山の空の玄関口である南紀白浜空港。毎日3便、東京・羽田空港から約70分という利便性から、観光客だけでなく白浜でのワーケーションやビジネス客の利用が増えているという。2019年4月からは民間企業の運営となった。10月からは乗客数の増加に対応し朝夕2便が従来より大型の機材に変更され、併せて運賃の大幅値下げも実施。今後は海外路線の誘致も計画中だという。

南紀白浜空港
住所 / 西牟婁郡白浜町才野1622-125
電話 / 0739-43-0095

FACILITY
三菱地所株式会社が2019年に白浜町第2 ITビジネスオフィスにオープンした「WORK Xation Site 南紀白浜」は、白浜にあるワーケーション施設のひとつ。大きな窓とダークな天井がスタイリッシュな空間をつくる。



南紀白浜で見ると新しい働き方



GROUP
白良浜でアフターファイブを楽しむ参加者たち。普段よりも濃密な関係を築くことが可能なのも、ワーケーションならではの効果のひとつ。